

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

Growing

May 2016 **45**

毎月10日発行



新たな環境で前向きに頑張る卒業生達・・・。 先生達も全員が第一志望に合格できる塾になれるよう、 一層頑張ります。

高木 秀章(塾長)



春の日差しが、少しずつ夏の日差しにかわり、木々の緑も日増しに濃くなってきました。子供達は、このような自然の変化を本能で感じるのでしょうか。気温が上がるとともに、子供達のエネルギーも大きくなっているように感じます。私たち講師は、春期講習会や春の遠足が終わり一息、と言いたいところですが、子供達の元気に負けないよう日々、奮闘の毎日です。

先日、今年度の卒業生達を集めて茶話会を行いました。公立入試が終わり1ヵ月程ですが、みんな、高校生になり、少し大人になったように感じました。みんなで、思い出話や、ゲームやビンゴなどをして、楽しく過ごし、その中に入試で不合格になった生徒達も来てくれました。中には、塾に来るのがつらかった生徒もいるかもしれません。しかし、彼らは現実と向き合い、自分の気持ちに整理をつけ、新たな環境で前向きに頑張っています。そんな彼らの言葉をお伝えしたいと思います。

公立高校結果を見た時、周りの合格の声の中で、不合格になったのは自分一人のような気持ちになり、友達とも話さず家に帰るとすぐに、お母さんと、併願で合格していた私立高校へ手続きに行きました。肩を落として、私立高校に行くと、そこには自分と同じ境遇の生徒達がたくさんいて、つらいのは自分だけではないことに気づいたそうです。そして、高校の先生達一人一人が、「公立に不合格になったことは残念だけど、君たちの今までの努力は決して無駄ではない。先生達とここでもう一度頑張っ、て、見返してやろう」と声をかけてくれ、この学校で、がんばろうという気持ちになったそうです。

みんなで塾に挨拶に行こうと約束していたがグループの中に不合格の友達がいたので取り止めようと言った。するとその不合格の友達が、「取り止める必要はない。自分の努力が合格した 350 名に届かなかった

ただけだから。」と話したそうです。

人間は辛い状況に置かれた時、本当の自分が現れます。その時に前向きな自分でいられるか。言葉で言うのは簡単かもしれませんが、苦難や挫折を前向きに乗り越えようとする、彼らの姿勢は本当に素晴らしいと思います。

世の中には彼らのような、強くて前向きな若者が必要です。受験の可否で子供達の価値を図ることはできません。可否の結果以上に、受験を通して身に付けた「努力し工夫を続ける姿勢」こそが、人生を切り開く大きな力になります。

もし、みんなの受験が全て終わっても、人生の課題に終わりはありません。人間はその課題を前向きに捉え、努力と工夫で乗り越えることで成長し続けていきます。どうか、みんなには学び続ける人になって欲しいと思います。そして、それは先生自身も自分に言い聞かせなければならないことです。

先生達の仕事は、生徒のみんなを第一志望に合格させることです。不合格で肩を落とす生徒が出たのは、私達の力が足りないせいです。みんなを合格させてあげたかった。先生達ももっと努力と工夫を重ねて精進しなければならないと思います。

先生達はこれからも生徒達の第一志望合格にこだわります。まだまだ力の足りない私達ですが、合格にこだわり続け、そして、その先で、受験の可否が子供達自身の価値や将来を決して、決めるものではないことを、伝えていけたらと思います。

最後に卒業生の声を載せておきます。

卒業生の「メント」

「カイチでの思い出」

2年生の終わりごろからカイチに入り勉強をし始めました。私は入塾したての頃は本当に勉強が苦手な高校に行けるのか心配なくらいでした。だけど、絶対に頑張っ、てやろうと決めて、出来る限りの努力をしました。

特に、3年生になってからは今までにない程たくさん勉強をしました。友達とはライバルになりケンカもしましたが、一緒に頑張っ、て合格した時には泣いて喜び合いました。

塾の先生方にはたくさんお世話になりました。あんなに成績が悪かった私をきちんと教えてくださってありがとうございました。先生達のおかげで今まで頑張っ、てすることができました。カイチに来て良かったです。

<今津教室 S さん>



CLASSROOM REPORT 教室レポート

子供達との絆 ～成長を見守れる喜び～

熊谷 真宏 (今福教室)



この記事を書いているのは1カ月前の4月の中頃。ちょうど新学期が始まり、入学や進級で皆さんが胸を躍らせていた時期ですね。春期講習も終わって一段落ついたこの時期に、各教室で昨年の3年生の卒業パーティーが開かれました。今福教室では川西先生の主導のもと、ピザやオードブルなどを用意して盛大にお祝いしました。特に盛り上がったのはビンゴ大会で、景品はなんと図書券総額1万円分！川西先生が大奮発してくださいました。塾長も加わり、恨みっこなしの真剣勝負。同時に二人がビンゴになった場合は腕相撲で勝敗を決めるなど、最後まで盛り上がりました。中1の頃からずっと見てきた子供達と、このように楽しい時間を過ごす。カイチの先生をやっていて本当によかったな…と改めて感じた一場面です。

個人的な話になりますが、私はカイチに入社して今年で5年目に

なります。入社当時に年長さんだった子供達は、小学4年生になりました。小学5年生だった子供達は、中学3年生になりました。この仕事をしていて思うのは、年を追うごとに仕事がますます面白くなっていくということです。なぜかということ、子供達との付き合いが長くなるほど、その子供達がどういう風に成長して変わっていくのかが楽しみですし、より一層頑張ってお教えようという気持ちになるからです。そして何より、子供達との絆が深まるということが最大の理由です。

カイチの素晴らしいところは、幼稚園から中学卒業まで、一貫して子供達の成長に関われるということです。今は個別クラスに高校部もあるので、幼稚園から高校までずっと成長を見守ることが出来ます。これは学校の先生にはまず出来ないことですし、他の塾でもなかなか出来ません。幼児クラスやそろばんクラスがあるカイチ

だからこそ、それを可能にしています。これほどやりがいのある仕事はなかなか見つからないのではないのでしょうか。そんな仕事に携わることが出来て、先生達は本当に幸せです。

カイチの先生達は、叱る時はどの先生も本気で叱ります。褒める時は思いきり褒めます。先生達には、皆さんの人生を背負っているという責任があります。だから中途半端な指導は出来ません。叱られるのは誰でも嫌なものです。先生達は皆さんの将来のために叱ります。そのことを忘れないでください。

今福の先生達は、塾長をはじめ、本当に子供達のことを大好きな先生ばかりです。他の教室に負けないくらい、いや大阪中の、日本中のどの塾にも負けないくらい、素晴らしい教室にしていきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願ひします。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

新学年初めての定期テストに向けて

小田 忠 (統括教室長)

こんにちは。関目教室の小田です。この記事を書いているのは4月の中旬。1か月前までは寒い日が続くことが多かったのですが、すっかり暖かくなり、過ごしやすい季節になってきました。

塾では春期講習が終了し、いよいよ学校でも新学年の授業が本格化する時期。教室ではついこの前まで「今度のクラスは誰と一緒にいるかな?」「どんな先生なんかな?」と言う話題から「数学が・・・」「英語が・・・」など勉強の話題が子供達の会話から聞こえてくるようになりました。新学年を迎えて「頑張らないといけない」という気持ちの表れではないかなと頼もしく思っています。さて、この記事が皆さんの手元に届くのが定期テスト直前だと思いますので、定期テストのお話をさせていただきます。新学年での定期テストに向けて大事なことは3つ。①目標設定②学習計画③やるべき項目をやり切るという3つです。

1. 目標設定

カイチではテスト2週間前からはテスト勉強を3時間行うというルールがあります。そのルールを守り2週間前から3時間学習を行って、自分は何点を取ることができるのかをよく考えて目標を立てているか?この目標が曖昧だと計画などが全て崩れてしまいます。自分だったらどれぐらい点数が取れるのか?自分と向き合い、必死にこの目標を考えてください。目標を立てることができれば次は計画です。

2. 学習計画

学習計画ですが、自分だったら目標点数にどれぐらいの時間を割けばいいのか?をよく考えて計画を立ててください。一人一人得意教科も違えば、やらなければいけない教材を終了させる時間も違うと思います。先生達も毎週スケジュールシートで確認をして、一人一人アドバイスをしていきますが、まずは自分で計画をしっかりと立てること。この計画を立てる力は高校生や大学生になった時、ひいては社会に出た時に非常に大切な力となります。少し話はそれますが、社会人になると自分だけで仕事をするではありません。同じ会社の同僚や違う会社の人達とも仕事をするようになります。その時に計画がずれて、仕事が終われなければ・・・それで自分の信用を失うだけでなく、会社の信用も全て失う結果となり、大きな損害を会社に与えることになります。その人に次のチャンスが巡ってくることはなかなかありません。ですから、今からしっかりと計画を立てることができるようにおきましょう。先生もこの記事を書きながら、自分にも言い聞かせています。計画を立てることができれば、あとは勉強です。

3. やるべき項目をやり切る

カイチではテスト前にやるべきことが決まっています。これをやり切ってもらおうとテストの点数を取れるシステムにしてあります。ですから、目標を達成するために、計画通り「鉄の意志」でやり切ってください。やり切るとは「次に同じ問題が出題された場合に絶対に正解する」までやるということです。今、やり切ることができれば、それが自信となりテストを安心して受験することができます。逆にやり切らなければ、不安な気持ちでテストを受験することになり、できる問題も焦りや不安で間違えてしまう可能性もあります。ですからしっかりとやり切ってテストにのぞみましょう。

初めての定期テストに向けて、今頑張っている真っ最中だと思います。先生達はみんなが目標点数に行くように指導をしています。ですから、先生達は心を鬼にして、時には檄を飛ばしたりすることもあります。しかし、それもみんなのことを思ってのことです。中学生の皆さんには無限の可能性が 있습니다。その可能性を最大まで引き伸ばしていくために先生達も必死で頑張りますので、一緒に頑張りましょう!

COLUMN : 先生紹介 ▶ 松尾 和哉 (関目教室)



こんにちは。関目教室の松尾です。私は開智総合学院に入社して間もないですが、生徒の元気な姿に励まされながら日々を過ごしています。私は以前他塾で個別指導の講師をしていましたが、開智総合学院の生徒は勉強に対してすごく意欲があるように感じました。これも先生方の指導が素晴らしいからだと思います。

さて私事ですが、これまでの経歴から皆さんに伝えたいことがあるのでお話をさせていただきます。私は大学へ入学する前から自分

の声で人に感動を与える仕事に就きたいと考えていました。その当時は勉強の息抜きにアニメを観たり、音楽を聴いたりしていたので声優や歌手にとっても興味がありました。だから、1、2回生でお金を貯めて3回生の時に声優の専門学校に入学しました。声優は俳優の一部なので、基本的には俳優の勉強をしました。発声、舞台、ナレーション、アフレコと様々なことをやらせていただきました。そのどれもが新鮮で夢中になり、気がつけば卒業する時には自分だけが皆勤賞をいただきました。平日は大学、日曜日は専門学校と大変忙しい日々を過ごしましたが、この一年間は本当に充実していました。卒業後オーディションを経て養成所に入所しましたが、色々うまくいかず辞めることになりました。しかしやって良かったと心から思っています。小中高と自

分のやりたいことを親に言えず後悔したので、もし専門学校に入っていなかったら同じような後悔をしていたと思います。

最後にこのような経験を踏まえて皆さんに伝えたいことがあります。興味があることには積極的に挑戦してください。何事もやってみないとわからないです。やらずに後悔するよりはやって後悔した方がましです。というより興味があることに挑戦して後悔することはないと思います。ただし万が一失敗した時のこともしっかり考えてください。やりたいことが見つからない人も、やりたいことが全然見つからない人も開智総合学院でしっかり勉強しておくことをオススメします。勉強しておけば選択肢が増えるのでやって損なことはありません。他の先生とは一味違う経験をしているのでそういったことも皆さんに伝えていけたらと思っています。どうかこれからよろしくお願いたします。



高木のちよっと イイ話

TEACHER'S VOICE 高木 直也 (諸口教室)

躍動する諸口教室の若い力

2016年度もスタート早いもので2か月が経過しました。いよいよ中3生達も3年生としての自覚が出てきたように見えます。今回はその生徒達ではなく、その生徒達を支える若い力を紹介します。

まずは、今年で開設3年目を迎えたカイチ個別についてです。開設当初から引っ張ってくれている山田先生を中心に、どうやったら成績が上がるか、どう声をかけたら生徒達のやる気ができるか、試行錯誤し指導にも工夫を凝らしてくれています。指導後、先生達が何やら相談しているので、何をしているのかと眺めていたら、机の配置を考えていたそうで、どうすれば生徒に寄り添って指導できるかを考えて配置を組んでいました。対面で指導できるように配置したらどうかと聞いたところ、生徒

や教える科目によっては前からではなく、横から教えるほうが指導しやすいこともあるということでこのような配置にしたのだとか。基本個別で指導に当たるときには対面でしか指導しない僕にとっては新鮮でした。この諸口で育った先生達が自分の経験を交えながら一生懸命指導する姿に日々感心させられます。

次に集団の若い力といえば、昨年からの関目から諸口に移籍した井上陽平先生です。大学卒業したての若手ながら国語、英語、社会に数学と、指導する科目は多岐にわたります。そんな彼の行動に目を奪われたのは、春期講習中の和歌山県沖の地震が起こった日のことでした。携帯電話が一齐に緊急地震速報を伝えるアラームが鳴り、皆が地震に警戒する中、一目散に自習する生徒の部屋へ向かい生徒の安全を確保していました。

彼のそういう姿から先生のあるべき姿を見

ました。

若い先生が指導に入ると「大丈夫？」と思われる方も少なくないかもしれません。実際に、バイト講師はいないと謳う塾も巷にはあります。もちろん若さゆえ足りない部分も少なからずあるでしょうが、若くなければできない指導や発想、熱意もあります。若い力を存分に発揮し、生徒の成績アップとともに共感し喜べる環境を、彼らを見守る僕らとしては作ってあげたいと思っています。とはいえ、私も、教室長の坪田先生も精神は未だ衰えず若手のままです。彼らに負けずに教室を盛り上げていきたいと思っています。



カイチからのお知らせ

- 5月中旬より各中学で中間テストが実施されます。それに伴い塾内では4月下旬より定期テスト対策を行っております。お客様の学習の様子に不安があります時は各教室にご遠慮なくご相談ください。
- 5月7日(土)・21日(土)・28日(土)(※学校により9時間自習日は異なります。)は中学生対象で9時間自習を13時~22時で行います。定期テストまで最後の追い込み、みんなで頑張りましょう。
※14日(土)の9時間自習は教育講演会を開催するため13時~22時で実施できません。時間の詳細は各教室にお問い合わせください。
- 5月14日(土)は教育講演会を大阪市鶴見区民センターで実施いたします。テーマは『新入試問題の傾向と対策~親子に必要な「学ぶ努力」と「知る努力」とは』です。ご興味がおありの方は是非ご参加ください。